



旧暦の1月7日に行われる伝統行事 猿賀神社の七日堂大祭が開催

2月23日、猿賀神社で七日堂大祭が行われました。
大祭では「柳からみ神事」が行われ、奉仕者の三上隆志氏が4 m超えの柳を打ち付け、枝のこぼれ具合で農作物の出来を占いました。その結果、2026年は「良くて前年並み」とのご託宣が出されました。
この後、境内では「ごまの餅まき神事」が行われ、集まった人たちが、ごま入りの紅白の餅をお守りとして拾っていました。



東京都で平川市産りんごのPR りんごのトップセールスを実施

2月6日、市はJA津軽みらいと東京大田市場で、りんごのトップセールスを実施しました。平成25年からこれまで計15回トップセールスを重ね、今回は工藤市長就任後、初開催となりました。市長は「昼夜の寒暖差、生産者の技術により甘くジューシーに仕上がるところが平川市産りんごの魅力です」と市場関係者に直接PRしました。

個人部門県内初受賞

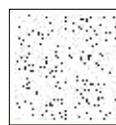
「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の優良事例受賞を報告

2月4日、平川市のタグボート株式会社代表取締役の水口清人氏が、農村漁村の地域活性化などへの取組を国が選定する「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第12回選定）の優良事例30地区に選ばれたことを報告しました。
日本初となる瓶の中りにりんごが入ったブランデーの開発のほか、りんご農家の所得向上に寄与したことなどが評価されました。



若者の視点を生かしたまちづくり ユース議会活動報告会を実施

2月27日、若者が地域の課題を話し合い、まちづくり事業を提案する令和7年度平川市ユース議会の活動報告会が本庁舎で行われました。
今年度の活動では、「SNS・CM動画作成プロジェクト」というテーマで、平川市ユース議会のSNSアカウントの運用や動画作成を行ったことなどを報告しました。



ユース議会
Instagram



市内中高生が思いを主張

青少年健全育成市民大会を開催

2月7日、市の青少年健全育成運動と地域コミュニティの推進を目的として、令和7年度平川市青少年健全育成市民大会が行われました。

市内の中高生7人が、日常で感じていることや夢などを主張したほか、友好親善都市である鹿児島県南九州市への国内交流派遣生による発表などが行われ、集まった人たちは真剣に耳を傾けていました。



漆を活かした農福連携

ノウフク・アワード2025チャレンジ賞の受賞を報告

2月13日、平川市の就労継続支援B型事業所「きりんの里」が、農林水産業と福祉が連携した取組を表彰する「ノウフク・アワード2025」のチャレンジ賞を受賞したことを報告しました。

市内企業やねぶた団体と協力し、漆を活かした取組「きりんうるしプロジェクト」が評価され、報告に訪れた人たちは笑顔を見せながら取組への思いを話していました。

国スポ HIRAKAWA NEWS vol.8

2月3日、五輪に3大会連続出場した、金沢学院大学助教の八木かなえさんによるウエイトリフティング実技講演会「楽しい！ウエイトリフティング」が尾上中学校体育館で開催され、尾上中学校の全校生徒が参加しました。

講演会では、八木さんのこれまでの経歴やウエイトリフティング競技のルールなどをスライドで紹介し、全員でバーベルの挙げ方を練習しました。数名の生徒が代表してバーベルを挙げると、周りの生徒からは拍手と歓声が起こり、会場は大いに盛り上がりました。質疑応答コーナーでは、大事な試合の前の心構えや、体づくりのための食べ物など、様々な質問が飛び交い、生徒は八木さんのお話をしっかりと聞いていました。

最後に八木さんは、「将来の目標を達成するために、まずは今日、自分が頑張れば達成できる目標を立てて、毎日それを達成することが大切。そうすると達成感が生まれて次の日も頑張れるので、ぜひ皆も実践してみてください。」とお話されました。

講演を真剣に聞く生徒の皆さん。
100kgを超えるバーベルを挙げたなんてすごい！



いざ体験！
柏木農業高校のウエイトリフティング部もお手伝いしました！